

市町村名	座間味村
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】	

事業名	座間味村歴史文化・健康づくり拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-7 観光リゾート産業の振興
担当部課名	総務課	事業実施 年度	平成 24 ~ 令和 1 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
本村の新たな観光客の受け入れ体制の整備と観光客誘致の拠点として、公園内を整備しビジターセンターを建築する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
	実績報告上の総事業費(最終)	193,466	60,480	813,703	214,675	1,282,324
	A. 予算現額	196,054	67,910	825,936	231,107	1,321,007
	B. 執行済額	193,466	60,480	813,703	214,675	1,282,324
	うち 交付金充当額	154,772	48,384	650,962	171,739	1,025,857
	執行率(%) (B/A)	98.7%	89.1%	98.5%	92.9%	97.1%
執行状況の説明	<p>・H26年度は、用地購買の見直しや地質調査の追加のため予算を増額した。 ・H29年度は当初見込んだ施工管理に係る委託費について、土木技師職員採用のため村直営で施工管理が可能となったため委託費を減額した。また、東屋の設置について製作会社の納期が遅れたため繰越が生じた。 ・H30年度は建物設備資材の受注が集中したため3ヶ月程度納期に遅れが生じた。また、建築工事工程の初期の基礎工事が遅れたため繰越が生じた。 ・R1年度はシアタードーム設備資材が受注生産となるため、工事契約後早期に発注を行ったが納期が2月末となり、組み立て期間にさらに2か月を要することから繰越が生じた。また、座間味村オリジナル番組(自然編、歴史文化編)の完成度を高めるため、通年にわたり取材をしたことから事業完了がR2年10月となった。</p>					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H25年度	H26年度	H29年度	H30年度	R1年度
・公園機能強化に伴う設計・整備の実施 ・ビジターセンター建設に向けた用地購買	目標	・委託業務発注 ・請負工事発注	-	-	-	-
	実績	・委託業務発注 ・請負工事発注	-	-	-	-
・公園整備の機能強化の実施 ・ビジターセンター実施設計の作成及び測量調査	目標	-	・機能強化の実施 ・実施設計 ・測量調査	-	-	-
	実績	-	・機能強化の実施 ・実施設計 ・測量調査	-	-	-
・外構工事の実施(敷地造成、エントランスアスファルト舗装、中庭広場浸透性舗装、東屋設置)	目標	-	-	・整備一式(造成・舗装の実施、東屋設置)	-	-
	実績	-	-	・整備一式(造成・舗装・東屋設置の完了)	-	-
・建築工事及び施工監理の実施(集会棟、管理棟、シアター棟工事)	目標	-	-	-	・建築工事及び施工監理の実施	-
	実績	-	-	-	・建築工事の完成及び施工監理業務完了	-
・シアタードーム設備工事の実施	目標	-	-	-	-	・設備工事の実施及び上棟作品制作監理業務実施
	実績	-	-	-	-	・設備工事の完成及び上棟作品制作、監理業務完了

	成果目標(指標)	進捗状況					
		H25年度	H26年度	H29年度	H30年度	R1年度	
事業期間中の 成果目標	・公園内機能強化(東屋・駐輪場・バスケットコート・緑地整地整備等)	目標	・整備一式(東屋・バスケットコート・緑地整地整備)		—	—	—
		実績	・整備一式(東屋・バスケットコート・健康器具等)		—	—	—
	・公園整備(東屋・ベンチ・3on3コート・健康器具等の設置) ・ビジターセンター実施計画書取りまとめ、建築費用及び予定用地の土地状況把握	目標	—	・整備一式(東屋、ベンチ、3on3コート、健康器具等) ・実施	—	—	—
		実績	—	・整備一式(東屋、ベンチ、人工芝等) ・実施設計書の作成、地質調査の実施(ボーリング調査)	—	—	—
	・外構工事の完了(敷地造成、東屋整備、案内看板の設置等)	目標	—	—	・外構工事実施	—	—
		実績	—	—	・外構工事完了	—	—
	・建築工事の完成(集会棟・管理棟・シアター棟工事)	目標	—	—	—	・建築工事実施	—
		実績	—	—	—	・建築工事完成	—
	・シアタードーム設備工事の完了	目標	—	—	—	—	・設備工事実施 上映作品制作
		実績	—	—	—	—	・設備工事完成 上映作品完成

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R6年度 目標/発現年度	
事業完了後の 成果目標	年間利用者数/年	目標	—	5,200人	6,300人	7,600人	7,600人
		実績	未把握	2,618人	5,007人	11,906人	
	状況説明	目標					
		実績					
	<p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言やまん延防止等特別措置、施設運営の担い手不足等を理由に施設をフルオープン出来ておらず、村内各種団体の集会等にのみ供しているが、利用者数の把握は行えていない。</p> <p>【R4年度】 ・新型コロナウイルス感染症の防止対策をしながら施設運営を実施した結果、利用者数 2,618人の実績となった。</p> <p>【R5年度】 ・新型コロナウイルス感染症5類移行による行動制限撤廃により、当施設並びに当施設を起点とした各種イベント等の通常開催により、目標数6,300人は下回ったものの利用者数は5,007人となった。</p> <p>【R6年度】 ・当施設や当施設を活用した各種観光イベント開催、施設管理者(民間事業者)による健康増進を中心とした利用促進イベント開催等により、目標数7,600人を上回る11,906人となった。</p>						

<p align="center">【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)</p>	<p align="center">【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)</p>
<p>【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言やまん延防止等特別措置、施設運営の担い手不足等を理由に施設をフルオープン出来ていない状況である。</p> <p>【R4年度】 ・新型コロナウイルス感染症の防止するため、規模を縮小した形であるが各種イベント(ヨットレースの後夜祭、サバニ帆走レースの前夜祭、各祭りなど)の開催もあり、2,618人の実績となった。</p> <p>【R5年度】 ・新型コロナウイルスが5類移行による行動制限撤廃により、当初計画したイベントは予定通り開催され、前年度を上回る利用者となった。しかしながら、当該施設を管理する部署において、他の業務の繁忙等により、施設の利用促進に係る企画立案や村民並びに観光客への利用周知活動が弱かったことから目標が達成できなかった。</p> <p>【R6年度】 ・観光客誘客などの各種イベント開催に加え、施設管理者(民間事業者)常駐にて健康増進イベントを中心とした企画実施により、村民の利用も増加したことから、目標を上回った。</p>	<p>【R3年度】 ・コロナ禍において施設を安全安心に利用していくために、感染症対策を検討する必要がある。 ・施設のフルオープンに向けて、施設運営の外部委託を含め早急に検討実施する必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・コロナ収束に向けて各イベント関係者が本格的に再開することから、積極的に施設の利活用を周知していく必要がある。</p> <p>【R5年度】 ・施設の利用促進に向けて、村民並びに観光客への利用周知活動を強化し、利用に向けた企画メニューを検討する必要がある。</p> <p>【R6年度】 ・施設管理者(民間事業者)の本格的な管理が令和6年10月開始であることから、年度を通じた施設の利活用について定期的に協議を継続していく必要がある。</p>
<p align="center">今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)</p>	
<p>【R4年度】 ・本村は離島ゆえ医療体制が脆弱であることから、村内で陽性者が確認された場合においては感染拡大を防ぐために感染状況に応じ、行事やイベント等の実施を延期している。施設を利用できる人数の制限や利用時間など感染症予防に努めながら利用者数増に取り組んでいく。 ・施設運営の外部委託や臨時職員の採用等、施設のフルオープンに向けて取り組む。</p> <p>【R4年度】 ・コロナ収束に向けて、施設を利用できる人数の制限撤廃や利用時間拡大などに取り組むとともに、本格的に再開する各種イベントでの活用に取り組む。</p> <p>【R5年度】 ・コロナ禍中に施設が完成したこともあり、当施設利用促進に係る取り組みが弱い状況であることから、村民並びに観光客に対する当施設の積極的な活用に資する広報を強化することで利用者増に取り組んで行く。 ・また、施設の利用促進のため、施設管理者(民間事業者)を選定し、施設管理者と連携して施設の利用促進に係る企画検討に取り組む。</p> <p>【R6年度】 ・施設管理者(民間事業者)と施設利活用について定期的な協議を通じた企画を実施し、施設専用HPや村広報(掲示板、村公式LINE、HP等)を通じて利用者の更なる拡大に取り組む。</p>	